

GIRARD GSWH-2 タンクレス・12Vガス温水器 取扱説明書

このたびは【GIRARD タンクレス12Vガス温水器】をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

この温水器はキャンピングカー等の車両用です。マリン用や住宅用としてはお使いいただけません。

この製品を扱う前に必ず本取扱説明書を熟読いただき正しい使用方法でご使用ください。

不適切な使用により事故・破損等のトラブルにおいては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。



【仕様】

■ BTU/HR	: 42,000
■ 燃料	: プロパンガスLPG
■ 入口圧力	: 最小11"WC～最大14"WC
■ 吸気圧力	: 1.5"～7.8"WC
■ 電源	: 12VDC 3A以下
■ 水流圧力	: 最大125PSI
■ 本体寸法	: 318x318x394mm(12.5"x12.5"x15.5")
■ 重量	: 9.98kg
■ 緊急遮断温度	: Max60°C

【重要注意事項】

- ※本機の近くでガソリンや引火性蒸気の使用、保管は厳禁です。
- ※万が一ガスのにおいがしたら…
 - ・ガスの元栓を締める。
 - ・車から避難する。
 - ・照明器具を点けない。
 - ・電装部品に触れない。
 - ・車のエンジン、発電機を始動させない。
 - ・最寄りのガス業者に連絡相談する。
 - ・ガス業者と連絡が取れない場合、消防署に連絡する。

【設置場所】

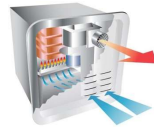
- ・ 本機は「水・プロパンガス・12V電源」が本体裏側で接続できる床面に設置してください。
- ・ 設置できない場所は以下です。
 - ①空気取り入れ口や排気口が何かに塞がれる恐れがある場所
 - ②排気口が車両の窓や開口部に近すぎる場所
 - ③空間が閉鎖されている場所
- ・ 本機の上面には25mm以上のクリアランスを設けてください。側面にクリアランスは不要です。
- ・ 正面には上部な取付けフレームが必要です。約50mm角の木材等で枠組みしてください。
- ・ 330x 330mmの開口を設けてください。コーナーのRは不要です。
- ・ 「水・プロパンガス・12V電源」が本体裏側に無理なく接続できるように準備します。

【冷温水配管・ガス配管】

- 本体裏側の冷水・温水それぞれのホース口(1/2"ストレートネジ)ニホースジョイントを取付けます。
 - ※フィッティングが痛むので強すぎるトルクで締めないでください。
- 本機を事前に開けた車両開口部に差し入れます。
- ガス管(3/8"ネジフレア式)をジョイントに適切なフィッティングで接続します。
 - ※ナットを締める際は必ず2本のレンチを使って締めてください。
 - 本体側は回さず固定し、取り付けるホースジョイント側のみ回し締めます。(必要に応じてシール剤を使用してください)

【温水器本体の取付け】

- 取付け開口部周辺をマスキングテープ等で保護してください。
- 本体を開口部に差し入れ、ハウジングの正面エッジが壁面と隙間なく揃うように置いてください。
- 本体ハウジングと開口部との隙間には耐久性のあるコーキング剤を入れてください。
- ドアフランジの裏にコーキング剤がブチルテープを入れ、本体ハウジングの中に差し入れしっかり壁に固定します。
- ドアフランジ内側のビス穴と本体ハウジングのビス穴を合わせ、各辺をビス2本でしっかり固定してください。
- ドアフランジと車体壁をビス止めます。
- 余分なコーキング剤を取り除きます。



【12V電源とリモコンの配線】

- 本体スイッチをOFFにしてから、裏面の赤線(プラス)・黒線(マイナス)に12V電源を接続します。
赤線(プラス)側には10Aヒューズを入れてください。
- 社内のリモコン取付け位置を決め、配線します。
本体裏面の青線2本とリモコンの青線2本を結線します。※配線長さはMax5mです。
 - ※リモコン線は12V線(赤黒線)に接続しないでください。
 - ※マイクロプロセッサには常に約0.2Aが流れています。長時間使用しない時は本体スイッチをOFFにするまたは電源側のスイッチをOFFにしてください。

【作動テスト】

- 本体のスイッチまたは電源側スイッチがOFFであることを確認してください。
- 本体に給水されるようにします。
 - ※毎分3.5L以上の水量が必要です。水量が少ないと水温や作動が安定しません。
 - 配管が分岐している場合、分岐先に水量を奪われる可能性があります。
 - 蛇口で湯水を混合することを止め、本機で温度設定することを推奨します。
- 蛇口を開き配管内に配水します。水がスムーズに流れ、水漏れがないことを確認してから配水を止めます。
水の流れが不安定で波打ちなどがある場合はポンプの調整、配管のチェックが必要です。
- ガスのバルブを開き、ガスポンペから本体までの配管にガス漏れがないことを確認します。
- 電源スイッチを入れ、リモコンの赤いボタンを押下し、水温設定画面が表示されることを確認します。
工場出荷時は46°C(推奨温度)に設定されています。
- 蛇口を開き、ユニットが自動点火して温水がでることを確認します。
- ユニットが作動中、ガス漏れおよび水漏れがどこにも発生していないことを再確認してください。

【専用ドアの取付け】

- 必ず専用ドアを使用してください。その他のドアを使用すると作動に悪影響が発生し、危険が伴います。
- ドアは左側ヒンジで右側が開くように取付けてください。作動中は必ずドアを開めてください。
- 点検の時などは必要に応じてヒンジのネジを緩め、ドアを外してください。

【安全のために】⚠

LPガスのみを使用してください。
ガスの補充中は全てのガス器具やパイロットランプは点けないでください。
走行中はガスポンペのバルブは必ず締め、ガス器具は使用しないでください。
ガスポンペの補充は必ず認定業者に依頼してください。
オーバーヒートが発生した時はガスポンペのバルブを締め、作動スイッチをOFFにしてください。

【作動の仕方】

- リモコンで作動状況や水温を確認できます。
- 必要な要件が全て正常であることを確認し、最低でも3.5L/分の水量が流れることを確認してください。
- プロアファンが作動し、燃焼に必要な空気が供給されることを確認してください。
- ガスバルブを開き、安全な手順で点火(蛇口を開いて)ください。
- 設定温度に達し、維持するガスを確保・調整をします。
- 水量が十分あり、バーナーの火が確認でき、安全ではない状況に発展しないことを確認できれば継続作動可能です。
- ディスプレイの表示アイコンで作動状況が確認できます。ファン＝プロアが作動中・火炎＝バーナー点火中・シャワー＝温水供給中
- C/Fボタンで温度表示を摂氏/華氏を選択できます。
- UPまたはDOWNボタンで設定温度が表示されます。
- ユニットが安全に作動できないと判断すると、自動で停止して原因に応じたエラーコードが表示されます。
エラーコードはトラブルシューティングを参照してください。

【水量調節バルブ】

- 本体裏面にある水量調節バルブ(つまみ)で、ユニットに入る水温に応じて給湯温度を調節しやすくなります。
工場出荷時はフルオープン(最大水量)となっています。
- 入水温が低く、7°C以下の場合はバルブを右にひねり、水量を絞ってください。蛇口またはシャワーを絞ることで、同様の調節ができます。

【操作手順】

- リモコンスイッチをONにします。ディスプレイが点灯、ユニットの入水温の温度を表示します。
- UP/DOWNボタンを押下、現在の設定温度を確認。
- 好みの温度を設定します。35°C～51°Cの範囲で設定可能です。
- 蛇口を開くとバーナーが自動着火し、給湯が始まります。
 - ※水漏れや蛇口の締め忘れなどがあるため、人がいない場所での使用は危険です。
本機は20分間連続使用すると自動的に停止し、ディスプレイに「エラーコードEn」を表示します。



